鈴鹿アピール

「治安維持法がつくられた時、それがそんなに恐ろしい法律だと感じた人は殆どいなかった。それが 5 年たって牙をむきだした時には誰もどうしようも出来なくなっていた」（加藤周一）

加藤周一さんのこの言葉が安倍内閣が今回 12 月 10 日に施行しようとしている「秘密保護法」とみごとに重なります。

私たちは以下のことを市民の皆さんと共に考え、賛同人に加わって頂くことを訴えます。

1、秘密保護法は世界の潮流である情報公開の流れに逆行し、市民の「知る権利」を奪います。国連の自由権規約委員会も、「ジャーナリストや人権活動家の活動に萎縮効果をもたらしかねない」（2014 年 7 月）と勧告しています。

2、「知る権利」を奪うことは、かつての治安維持法のように戦争への準備であり、安倍内閣が平和憲法を無視してすすめる集団的自衛権行使の容認や武器輸出とあわせて、日本の若者を戦場に送ることにつながります。

3、鈴鹿では秘密保護法が国会を通過した 6 日を「ロックの日」ともじって秘密保護法をロックする（カギをかけ廃止する）行動を毎月、白子駅前で創意工夫をして行っています。そのアクション（行動）はささやかですが、広がりと反響を呼んでいます。

4、「広く知る権利を保障し」と第 1 条で明記した情報公開条例をもつ私たち鈴鹿市民は、その誇りと自覚を持って、憲法が定める人権尊重、平和主義、国民主権を踏みにじる秘密保護法の施行に反対し、その廃止を強く求めます。

2014 年 10 月吉日

秘密保護法に反対する鈴鹿市民の会
山本　あけみ

賛同いただける方はここにお名前を書いて以下にお届けください。

お名前　　（職業、所属とか経歴とか）ex. 会社員、〇〇の会、元公務員 etc.

（　　）

届先；萩森繁樹　FAX;059-374-0891　mail;hagi1922@tcp-ip.or.jp